

科目名	卒業研究ゼミ1（卒業必修）				
授業形態	演習	学年	1		
開講時期	2021年度 後期	単位数	1		
担当教員	青木 孝弘				
内容および計画	<p>卒業研究ゼミI（青木）では、地域社会や企業の課題解決に自ら立ち向かい、新たなビジネスを興す人、その仕事によって社会に大きなインパクトを与える企業家に着目します。これら企業家は、ベンチャーや個人経営に限らず、ものづくり企業や、菓子製造などの老舗企業、6次産業、そして近年はNPOなどの非営利組織にも見ることができ、若い世代の活躍が注目されています。そこで、卒業研究ゼミI（青木）では、文献による学習と情報収集に加え、様々な事業体で活動する若手企業家へのヒアリング調査等を通じて、企業人、イノベーターとして必要なマインドや仕事術について、学びます。履修生は、各自関心を持った起業家に対してアポを取り、ヒアリング内容をレポートにまとめ報告します。また共同研究として課題解決型PBLにも取り組みます。</p>				
1	授業の進め方、取り上げる企業家、文献、発表順番の決定				
2	事業構想ワーク				
3	事業構想ワーク				
4	事業構想ワーク				
5	文献の輪読				
6	文献の輪読				
7	起業家ヒアリング				
8	起業家ヒアリング				
9	起業家ヒアリング				
10	起業家ヒアリング				
11	起業家ヒアリング				
12	起業家ヒアリング				
13	調査報告をもとにしたディスカッション				
14	調査報告をもとにしたディスカッション				
15	調査報告をもとにしたディスカッション				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
服部篤子編著（2012）『未来をつくる企業内イノベーターたち』近代セールス社、塚本一郎・関正雄編著（2012）『社会貢献によるビジネス・イノベーション―「CSR」を超えて』丸善出版など、経営学、起業論に関するテキストを使用するが、履修学生との話し合いで決定する。					
参考書	授業でその都度、紹介していきます。				
成績評価					
	評価方法				割合(%)
	報告、レポート				50
	研究（共同研究を含む）に対する主体性、探求心				40
	ディスカッション、グループワークでの積極性、貢献				10

企業家ヒアリングの調査レポート提出が単位認定の条件といたします。	
学習到達目標	企業人として必要なマインドや仕事術を学ぶこと、情報収集力、行動力、文章作成力を養うことを目指します。また、ディスカッションを通して、傾聴力を高め、自分の意見をまとめて話す力を伸ばします。
先修条件	特になし。
実務経験	実務経験あり：名古屋市内の会計事務所（3年）、ワシントンDCの経営支援組織（1年）において会計支援・コンサルティング業務に従事後、地域活性化分野で社会的企業を創業。コミュニティビジネス、観光まちづくり、地場産業振興に15年以上従事してきた。この経験をもとに、特にスモールビジネスや起業が地域経済に及ぼす影響について研究指導を行う。
その他	地域や会社に役立つ人材になるためには何が大切かを、第一線で活躍中の企業家が書いた文献や、聞き取りから学びます。これは、自分が知りたい、やりたい、成りたいと思うことを深く考え、自らの日々の学習や行動を変えることにもつながります。